

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年5月19日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月19日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明いたします。

まず、2ページ目ですけれども、5月23日の（3）第1148回審査会合ですけれども、議題は2つで、1つ目が、東海第二の火災感知器のバックフィットの件の設工認です。

これは4月7日に申請がありまして、今回初回ということですが。

2つ目が、高浜の保安規定で、バーナブルポイズンの保管場所変更というもので、これは許可とかはもう終わっているものですが、これも4月に保安規定の申請があって、今回、初回ということになります。

次が、5月25日の（6）技術情報検討会です。

議題の1と3は、いつもの最新の研究の知見とか事故・トラブル情報の報告ということで、あと、議題2として、1F（福島第一原子力発電所）の事故調査の中間取りまとめの報告があります。

次が、5月25日の（7）第1149回審査会合です。

議題は1つで、泊3号機の新規制基準の許可で、前回、4月24日に引き続き審査のまとめ資料の確認というものが続いています。

次が、3ページ目に行きまして、5月25日の（8）第1150回審査会合で、議題は、先ほどのものと同じ泊3号機の許可なのですが、こちらは非公開で、同じまとめ資料の確認なのですが、非公開部分の議論ということになります。

次が、5月26日の（9）行政事業レビューの外部有識者会合ということですが。

これは、毎年、全省庁共通で行っている行政事業レビューのプロセスの、今回、最初ということになりますけれども、今回は、どの事業をレビュー対象として選ぶかという会になりまして、今後、6月に選んだもののレビューをして、8月に委員会に報告するという段取りになります。

次が、5月26日の（10）第1151回審査会合ですが、これは特定重大事故等対処施設が議題のため非公開となります。

議題は1つで、女川の敷地の地質構造についてということですが。

5月26日の（12）第1152回審査会合ですけれども、議題は1つで、浜岡3・4号機の津波評価です。

これは、前回、1月27日でしたけれども、そのときも議論になっていました複数の種類の津波の組合せの考え方についてということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—